



お宝紹介!

第108回
新潟大学附属図書館

さ ど きんざんず え
『佐渡金山圖會』をめぐる
取り組み

永井登志江, 山城光生

1. 新潟大学附属図書館の貴重資料公開

当館所蔵の貴重資料の中、質・量ともに最良を誇るの、越後国出雲崎湊の廻船問屋佐野家由来の佐野文庫です。佐野家は北前船の廻船問屋を営むかたわら、地主経営も行い泊屋と号しました。

代議士もつとめた明治期の当主佐野喜平太氏は、学問を好み和漢の典籍を収集しました。その蔵書は、知己であった副島種臣により「敬徳書院」と名付けられました。当館はこの蔵書を孫の泰蔵氏(元新潟高校教諭)から1960(昭和35)年に購入し、漢籍・国書・古文書に整理して保管しています。和漢の典籍5,237点と古文書約2,800点に及ぶ一大コレクションとなっています。

目録公開の事績をかえりみると、1974(昭和49)年に『佐野文庫敬徳書院蔵書目録』を刊行、1987(昭和62)年～1989(平成元)年には漢籍之部を収録した『新潟大学所蔵漢籍目録』を刊行しています。この目録は、京都大学による「漢籍データベース」にも収録されています。1996(平成8)年には、当時最先端のProPhotoCDを用いて、古文書を中心に目録データと画像データを「貴重資料データベース」で公開し、現在の「古文書・古典籍コレクションデータベース」に引き継がれています。

2. 『佐渡金山圖會』とは

佐野文庫所収の古典籍でも最も著名なものに、『佐渡金山圖會』があります。佐渡金山の様子を描いた彩色の写本で、縦29.3cmの折本に表紙を

つけた装訂です。

江戸期、佐渡島は天領として、奉行所が設置されて佐渡奉行が赴任する島でした。佐渡金山の様子を描いた絵巻は、国内外に数多く存在しています。採鉱・選鉱・製錬・鑄貨といった過程を表現豊かに描いた絵巻は、奉行所専属の絵師により、赴任してきた奉行への説明用や幕府への報告用として作成されたと言われています。したがって、工程や管理体制が変わると書き直す必要が生じ、多数の絵巻が作成されたと考えられています。

当館所蔵の資料には絵師や制作年は明記されていないため、他機関所蔵のものと比較し、描かれている内容で制作年代を推定しました。

- ①延享4(1747)年に設置された小判所が描かれている
- ②宝暦9(1759)年に設置された寄勝場よせがかりば(製錬施設)は描かれていない
- ③宝暦3(1753)年の制作であることが判明して



▲授業における見学の様子

いる新潟県立歴史博物館所蔵の絵巻と比べ、筆致や内容が酷似している

これらのことから、当館所蔵の絵巻も1750年前後の成立と類推されます。

また、現在の装訂は折本となっていますが、紙継ぎの状態から推して、もともと卷子だったものを折本に仕立て直したと考えられます。

3. 『佐渡金山圖會』の公開

本資料は前述の「貴重資料データベース」においても、全葉の画像を作成し公開していました。当時の技術では細部を眺めるにはやや不十分でしたが、2010（平成22）年に新潟県世界遺産登録推進室と佐渡市教育委員会から撮影のご協力を得て、



はじめに

新潟大学附属佐渡金山圖會(新潟県佐渡郡佐和田町)は、江戸中期の佐渡金山での採掘・精錬の様子や作業工程を絵巻風に描いたもので、当時の金山の様子を知るに重要な資料です。

新潟大学附属図書館では「新潟大学古文書・古書データベース」で本館所蔵の貴重資料の画像を公開しております。今回、特に重要な資料である『佐渡金山圖會』を、より高精細なデジタル画像で公開いたします。このサイトでは、実際の資料を向かって見るよりはるかに大きく詳細な画像を見ていただくことができます。

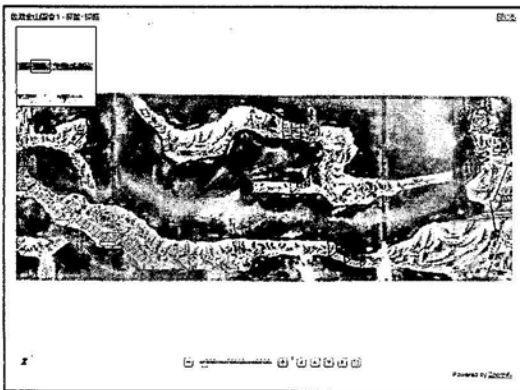
『佐渡金山圖會』には、金を採掘し始めるまでの様子だけでなく、たとえば、犬と戯れる子供たちの姿や、町屋で田楽を聴く町人、乳飲み子を抱えて作業する女性の姿など、当時の人々の生活がいきいきとユニークに描かれています。ホームページに登場する江戸時代のさまざまな人々の姿をゆっくりとお楽しみください。

特別資料の検索について
特別資料の表示について
新潟大学古文書・古書データベース
新潟大学附属図書館ホームページ

【お問い合わせ】
新潟大学附属図書館 資料公開課
〒950-8581 新潟市西区五十番町
850番地
TEL:025-262-6220 FAX:025-264-2218
E-mail: volinfo@lib.nigata-u.ac.jp

佐渡を世界遺産に

▲『佐渡金山圖會』の世界」トップページ



▲採掘場面の画面

高解像度のデジタル画像を入手することができました。

新潟県と佐渡市は、「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」を世界遺産に登録すべく、推進運動を続けています。新潟大学ではその運動を後押しするため、佐渡世界遺産フォーラムや企画展示を開催するなど、取り組みを継続していました。こうした背景とともに、『佐渡金山圖會』を広く公開したいという矢田俊文前附属図書館長の声もあり、急遽特設ホームページを作成することになりました。作成にあたり、画像の細部まで自由に拡大が可能であることや、他大学で作成された同様のホームページに見劣りしないようなページを目標にしました。

2010年10月1日、特設ホームページ『『佐渡金山圖會』の世界』を公開しました。採掘や製錬の様子だけでなく、犬と戯れる子供や乳飲み子を抱えて作業する女性など、当時の人々の生活がいきいきと描かれていることがわかります。ホームページ公開を記念し、10月6日～19日には附属図書館にて原本の特別展示も行い、一般の方々にも広く親しんでいただくことができました。

4. 将来に向けて

今回作成したホームページはまだ十分とは言えない内容で、より専門的な解説の充実や英語ページ作成の必要性を感じています。単なる資料の紹介にとどまらず、佐渡島や佐渡金銀山への関心を持つきっかけになるようなホームページを目指し、今後も改訂を続けていきたいと思ひます。

『佐渡金山圖會』の世界 ホームページ
<http://www.lib.nigata-u.ac.jp/sadokinzan/index.html>

参考文献

- ・新潟大学附属図書館編集. 新潟大学所蔵漢籍目録 上. 新潟大学附属図書館, 1987
- ・テム研究所編著. 図説佐渡金山. 河出書房新社, 1985, 199p. (ながい としえ, やましろ みつお: 新潟大学附属図書館)

[NDC 9 : 090 BSH : 1. 稀書 2. 新潟大学附属図書館]